

# 児童センター・児童クラブにおける 「寄り添い型支援」研修

1月22日(木) 10:00～12:15

南相馬市東町児童センター  
(福島県南相馬市)

5年目を迎えようとしている被災地では、子ども家庭を支援するために「見守り」から「寄り添い」による支援への転換が進められようとしています。そこで今回の研修では、東日本大震災子ども支援に深くかかわってきた講師陣による報告と、子どもとおとなが寄り添う「手作りおやつ(パン)場面」実習を通じて、子ども支援者の「寄り添い型支援」により、子どもが今を生きる主体として支えられることの意義と方法を学びます。皆様の参加をお待ちしています。

<内容・講師> 総合司会 植木信一：新潟県立大学准教授

(1)「寄り添い型支援」とは何か

森田明美：東洋大学社会学部教授、東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長

浜田進士：元関西学院大学准教授、子どもの権利条約総合研究所 関西事務所所長

(2) 手作りおやつ(パン)場面を活用した「寄り添い型支援」実習

小川 晶：植草学園大学発達教育学部講師

(3) 被災地における「寄り添い型支援」のためのワークショップ

清水冬樹：旭川大学短期大学部講師

片貝英行：NPOキッズドア仙台事務局長

日時：2015年1月22日(木) 10:00～12:15

申し込み不要・参加費無料

場所：南相馬市東町(あずまちょう)児童センター

(福島県南相馬市原町区東町二丁目82 電話0244-22-3202)

対象・定員：南相馬市の児童センター・児童クラブにおいて子どもたちにかかわっている方、

テーマに関心のある行政職員、市民、学生などどなたでも (※エプロン持参)

主催：子どもの権利条約総合研究所

【問い合わせ先】子どもの権利条約総合研究所東洋大学分室

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学森田明美研究室気付 TEL03-3945-7481